

市民・民間企業等参加型地域課題解決協働事業について

1 事業概要

多様化、複雑化している地域課題に対して、行政以外の主体（企業、NPO、大学等）が課題解決の担い手となることで、行政が主体となって実施するよりも高い効果が期待できる取組みがあるのではないかと想定されることから、市民目線による地域課題の洗い出しから始め、課題に対する解決策を実施する主体（企業、NPO、大学等）とのマッチングを目指したワークショップを今年度より新たに実施する。

実施にあたっては清瀬市及びりそな総合研究所と連携し、東京都市長会の多摩・島しょ広域連携活動助成金を活用する。なお、ここで出された地域課題は、今年度から着手する「基本構想及び基本計画」の策定の基礎資料としても活用する。

2 全体のスケジュール

6月18日（月）

・第1回ワークショップ 【相互理解】



狛江のまちに対する想いや日ごろ感じている地域課題、また地域活動における成功や苦労について参加者同士で語り合ってください。

また、参加者間で意見や想いを共有することで、それぞれの立場を理解する。

7月11日（水）

・第2回ワークショップ 【テーマの共有】



第1回での議論をもとに、地域活動のあるべき姿と現状を比較することで、地域課題を明確にする。また、その課題に対して現在実施されている取組みを振り返り、その取組みのうまくいっている点や工夫が必要な点を話し合うとともに、次回以降において議論すべきテーマを絞り込み、ワークショップ全体で共有する。

7月30日（月）

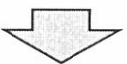
・第3回ワークショップ 【やるべきことの明確化】



第2回で導き出されたテーマごとに、それぞれ興味や関心のあるグループに分かれ、課題や課題に対して現在実施されている取組みについてより一層理解を深める。また、各テーマごとに、課題解決に向けた「やるべきこと」を明確化する。

8月30日（木）

・第4回ワークショップ 【事業案の検討】



第3回で明確化した「やるべきこと」を実現するための事業案を検討する。検討にあたっては、担い手となることが想定される実施主体（企業、NPO、大学等）や事業案の対象地域、開始時期等の事業案の中身についても具体的に検討することで、第5回のプレゼンテーションがより効果的なものとなるよう準備する。

10月18日（木）

・第5回ワークショップ 【事業案のプレゼンテーション】



各グループで検討した事業案について、担い手となることが想定される実施主体（企業、NPO、大学等）に対してプレゼンテーションを行い、いただいた意見を取り入れたうえで協働事業としてマッチングを行う。

10月25日（木）

・狛江市・清瀬市合同報告会

ワークショップの一連の流れを振り返り、マッチングに至った事業案や成果と課題等を共有し、来年度に向けての意見交換を行う。